

令和2年度 第3回恵庭市都市計画審議会 会議録概要

開催日時	令和2年10月21日(水) 9:30~10:30
開催場所	恵庭市民会館 2階 大会議室
出席者	<p>〔委員〕 瀬戸口剛、野田政志、佐々木敏文 野沢宏紀、岩井利海、武藤光一、柏野大介</p> <p>〔事務局〕 大槻雄二(企画振興部長)、後藤昭悦(まちづくり拠点整備室まちづくり振興監)、岡田貴裕(まちづくり拠点整備室長) 東賢哉(まちづくり推進課主幹)、佐藤翔(同主査)、屋仲めぐみ(同スタッフ)</p> <p>〔傍聴者〕 0名 〔欠席者〕 土谷秀樹、加藤強、瀬川真弓</p> <p>【会議概要】</p> <p>1. 開 会</p> <p>2. 挨拶</p> <p>3. 議 事</p> <p>恵庭市都市計画マスタープラン(令和3年版)素案</p> <p>4. その他</p> <p>5. 閉 会</p>
会長	<p>1. 開 会 本日の委員会は委員10名中7名の出席。(1/2以上の出席で成立)</p> <p>2. 挨拶 (部長挨拶)</p> <p>3. 議 事</p> <p>第3回恵庭市都市計画審議会を進めさせていただきます。 本日の議事は恵庭市都市計画マスタープラン(令和3年版)素案の中間報告についてであります。本会ご報告致します内容についてご意見をいただきたく思います。それでは事務局からご説明をお願いします。</p>
事務局	恵庭市都市計画マスタープラン(令和3年版)素案について中間報告内容の説明
会長	<p>マスタープランの素案については事前に配布している資料のとおり。先ほどの挨拶にもあったが、恵庭市は人口が現在も増えており、地価が上がっているということが非常に素晴らしい。この傾向は特筆すべき事項だと言える。</p> <p>また、コロナ禍におけるまちづくりの在り方も考え直さなければならない。ワーケーションなどのゆとりある暮らしに対して、恵庭のガーデンシティはマッチしている。ガーデンシティを打ち出すことによりウィズコロナのまちづくりにも対応できるものと考えられる。</p>
A委員	<p>有識者意見の16番で、恵み野駅のイトーヨーカドー跡地についての意見があったようだが、イトーヨーカドーが閉鎖されて1年以上が経過し、非常に問題であると懸念している。</p> <p>マスタープランに記載できるものかわからないが、非常に重要な駅前という場所を活性化させることはまちの活性化のために非常に重要なことではないか。どのよ</p>

A 委員	うなかたちでマスタープランに記載できるかわからないが、どこかに組込むことはできないだろうか。
事務局	<p>現在も経済部では所有者と情報交換は行っているが、建物の老朽化が原因の一つとなり、なかなか新たな計画は見いだせていない状況である。</p> <p>駅周辺の活性化において非常に重要な施設のひとつと認識しており、テーマ別プロジェクトのなかで駅周辺の活性化についての考え方を示すことができると思う。</p>
B 委員	<p>一つ目に、有識者意見の反映表について、有識者の誰が発言したかという部分も重要であると考えますが、公開することは可能か。</p> <p>二つ目に、有識者意見の16番に“小さな拠点”という表現があるが、内閣府のひと・まち・しごと創生の考え方のなかに“小さな拠点の形成”を謳われている。これは関連するものなのか。</p> <p>三つ目に、P14に都市公園についての記載がある。これは市街化調整区域に都市公園を設置するということか。</p> <p>四つ目に、P21に都市計画道路を見直し方針に基づき検討すると記載されているが、P23の方針図との整合性について確認したい。</p>
事務局	<p>一つ目の有識者意見の発言者名については、都市計画審議会資料はHP等でも公表されるものであるため、公表できるか否か検討したい。</p> <p>二つ目の小さな拠点については、名称は同じだが、内閣府が示しているものとは別に恵庭の都市マスのなかで検討しているものである。</p> <p>三つ目の都市公園について、昨今は P-PFI や公園設置管理制度において公園内に建築物を設置することができる制度がある。花の拠点も制度を活用しており、P8のブランド軸の形成の考え方に則って公園内に新たな施設の整備を検討するものである。</p> <p>四つ目の都市計画道路については、ネットワーク上から外れる都市計画道路を見直しの対象と考えており、黄金中島通の一部、恵庭駅通の一部、柏木通は P23 の図で反映している。</p>
B 委員	<p>都市公園の制度を活用することによって、市街化調整区域に施設建設を計画しているということか。</p> <p>また、都市計画道路について、P23 図に掲載されている道路については今後も整備する予定となるのか。今後は人口減少が懸念されるなかで、インフラ整備には多額の費用がかかり、さらなる見直しが必要ではないか。</p>
事務局	<p>調整区域での施設整備については、可能性として検討する項目として残していきたい。恵庭らしさを活かせる手法になるものである。</p> <p>都市計画道路は都市マスに掲載されているものをすぐに整備するものではないが、20年構想においてネットワーク上、重要な道路であるため、整備を推進していくこととなる。</p>
会長	<p>3 駅中心の拠点を考えるとする一方、道の駅が非常に集客力を持っており、重要な拠点施設と言える。道の駅のような拠点施設が、都市マスのなかではどのように位置づけられているのか。</p>
事務局	<p>P16 のガーデンシティの基本方針を示しているなかで“花の拠点”として位置付けている。また、P28 の水と緑の方針図のなかでも花の拠点を含む中島公園を水と緑の拠点として示している。さらに、健康づくりと関連させてテーマ別プロジェクトにも記載することができるかと考え、検討を進めている。</p>
会長	<p>ほかのまちとは違う恵庭らしいコンパクトシティを示していただきたい。</p>

C 委員	<p>P3 の千歳恵庭圏都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の記載があり、北広島市は札幌圏ということであるが、この都市計画区域の線引きはどのような考え方によるものなのか。</p> <p>また、P17 で 3 駅を中心としたコンパクトシティと謳い社会動向や産業形態などを勘案しつつ、産業の熟度に合わせ、新たな産業拠点の配置を検討とあるが、工業団地の売行きが良いことや、サテライトオフィスやテレワークなどの新しい働き方が注目されていることを移住定住と併せて考えていくことも必要だと考える。20 年スパンの計画のなかに盛り込むことは難しいと思うが、表現できないか。</p>
事務局	<p>都市計画区域の考え方は、土地利用の状況や生活圏の状況から総合的に判断される。土地利用においては、千歳と恵庭の市街地が近接しており、千歳恵庭圏となっている。北広島市においては虹ヶ丘や大曲が札幌市の市街地とつながっており、江別、石狩、小樽の一部においても市街地がつながっていることから札幌圏の圏域に含まれるものである。日常生活圏においても、買い物や通勤圏が恵庭と千歳では同一の圏域となることが国勢調査等の結果からも読み取れる。また、一定規模以上の都市においては市街地のスプロール化を防ぐために、市街化区域と市街化調整区域の線引きを行っている。</p> <p>P17 の土地利用方針としては都市計画決定に関わる方針を示すものであるため、企業誘致や移住定住についてはテーマ別プロジェクトとして市民や有識者の意見を踏まえて検討していきたい。</p>
C 委員	<p>3 駅を中心としたコンパクトシティとして、これからは攻めの姿勢でまちづくりを進めなければならない。ただし、恵庭の牧歌的な風景や文化やふるさと教育など、守っていかなければならないものもある。攻めと守りのバランスを都市マスにおいても考えていくべきではないか。</p>
事務局	<p>守りという点では歩いて暮らせるまちづくりと周辺の自然環境は保全していくものと考えている。一方で攻めという点では新たなガーデンシティの展開も重要と考えており、P8 において恵庭がもつ自然風景等を活かしたガーデンシティとしてまちづくりを推進するものとして示している。</p>
C 委員	<p>SDGs の話題がでてきたが、“住み続けられるまち”や“つくる責任、つかう責任”という項目があり、これらを理念の一つとして念頭においた計画となると良いと思う。</p>
会長	<p>今のご意見はぜひ理事者にも聞いていただきたい。これから恵庭のまちづくりは郊外を大事にすることが重要となってくるので、そのような計画としていただきたい。</p>
D 委員	<p>P9 コンパクトシティは重要な方針だと考えており、老朽化する公共施設の移転集約などの必要性が迫っている。以前、島松地区におけるまちづくり市民会議に参加していたが、当時描いていたまちとしての整備は難しいと感じている。一方で北広島市のファイターズタウンの影響で住宅需要が上がるチャンスでもある。そういったことを踏まえて島松のまちづくりについてなにか検討されているものはあるのか。</p> <p>また、だれが整備するのかといった検討事項はあるが、地域の公園を増やしていきたい。コロナ禍で大きな移動が制限されたことや、昨今の住宅はあまり広々とした敷地を構えないことも多く、近隣に公園があると心のゆとりにつながるのではないか。</p>

事務局	<p>島松地区におけるまちづくり市民会議の提言書はこれからも可能性のあるものと考えている。駅前広場等の整備が進まないなかで、周辺地区を先行して整備できない現状があることから、なかなか具体的な計画の策定に至っていないが、駅の整備のタイミング等と合わせて今後も整備を検討する地区として考えている。まちづくり市民会議の提言は現在も生きている。</p> <p>また、公園を増やすことについては、小さな拠点や都市公園の拡充に含まれるものと考えている。施設の複合化にも通じるもので、公園・図書・喫茶は効果的な集約が可能と思われる。恵庭の田園風景や盤尻の景観などの資源を活かし、衣食住に加えて“気持ち”を充実させることも大切にしたい。併せて公共施設の花づくり指針についても、現在はまだ検証している段階であるが、ガーデンシティとして一体的に整備していきたいと考えている。</p>
E 委員	<p>恵庭は交通利便性が高い地域だと実感している。そのなかで P21,P22 における市内交通の整備を促進することとしているが、恵み野と恵庭地区を結ぶ団地中央通や国道 36 号を補完する恵南柏木通の整備の記載について、具体的な計画があれば教えてほしい。</p>
事務局	<p>団地中央通はすぐに事業を実施できるものではないが、都市マスにおいても今後ネットワークとして位置付け、実施を検討していきたい。</p> <p>恵南柏木通は現在、東 1 線まで整備が進んでおり、周辺の土地利用が進んだ場合には道路を整備する可能性もあり、都市計画決定されている以上、粘り強く検討していきたい。</p>
F 委員	<p>P10 に防災拠点機能の強化とあるが、駅や駅前広場に関わる計画はあるか。</p>
事務局	<p>防災拠点機能については、国土強靱化計画や恵庭市地域防災計画と合わせてこれから具体的に整理していきたいと考えている。</p>
会長	<p>恵庭のハザードマップで危険としているところはどのようなところか。</p>
事務局	<p>主に浸水エリアを示している。1,000 年確率では、市街地においては概ね 3m 以上の浸水エリアとなるところはないとされている。立地適正化計画を策定している市町村においても基準を 3m 以下としているところが多いため、恵庭市においては現状の予測で問題ないと考えている。</p>
会長	<p>以上で今年度第 3 回恵庭市都市計画審議会を終了します。次回は千歳恵庭圏都市計画の区域区分の変更等について審議いただく予定となっておりますので、よろしくお願ひします。</p>
	<p>(閉会)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>